

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とうまちょう

## No. 4 : 北海道当麻町 (人口: 6, 637 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農業振興課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

### (2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町の各所で行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、この町の生活者とは異なる視点・見方で発見していただき、今後のまちづくりの一案とさせていただけることを期待しています。

また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを念願しています。

### (3) 体験の内容

農業体験・・・北海道一の米産地であるとともに、「でんすけすいか」などの施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。

福祉体験・・・国内におけるノーモライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22haの癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。

資源調査・・・上記体験分野をはじめ、環境・観光等あらゆる資源のまちづくり案を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の観光地への訪問、または、大雪山トレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。

地域行事参画・・・地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。

体験報告会・・・体験調査活動の報告会を行います。

### (4) 受入主体

当麻町

### (5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までの間の連続2～3週間で調整

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等 : 自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。 生産活動としての農業をはじめ、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていきける健康で明るい方。 募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月9日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
⑤その他	各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

### (7) 地域担当者から一言

全国的にも有名な「でんすけすいか」のまち当麻町。また、「田んぼの学校」という子どもたちが自ら育てたお米を日々食する食農教育の体験や、命を尊び、郷土を愛し、健全な心を育てる教育に力を入れています。

未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしたのフィールドワークは、将来の仕事や生き方にとつともなく強烈な原体験となるでしょう。

意欲ある皆さんの来町を心からお待ちしています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農業振興課 農政係
(ふりがな)	たにぐち ようこ	TEL	: 0166-84-2123
担当者氏名	谷口 陽子	FAX	: 0166-84-4125
E-mail	: taniguchi-y@town.tohma.hokkaido.jp		
URL	: http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川郡当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農業振興課		